

VOL.1

2019  
July

# 7 ガバナー月信



## Contents



RI 会長からのメッセージ  
ガバナーメッセージ  
直前副ガバナーあいさつ  
地区幹事・財務委員あいさつ  
委員長あいさつ  
ロータリー賞・会長特別賞について

ガバナー公式訪問日  
新会員報告  
会員数及び出席報告  
コーディネーターニュース  
ハイライト米山  
文庫通信

国際ロータリー第 2560 地区 2019-20 年度

大谷ガバナー事務所

〒943-0834 上越市西城町 2-3-9

TEL:025-512-1435 FAX:025-512-5854

E-MAIL [m.otani@rid2560niigata.jp](mailto:m.otani@rid2560niigata.jp)





2019-20年度  
国際ロータリー会長  
マーク・ダニエル・マローニー

国際ロータリー  
2019-20年度テーマ

ロータリーは世界をつなぐ

ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやって来たポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強くて末永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちはグローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

21世紀の新たな10年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-20年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。



実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在となっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人にあわせて現実的かつ管理可能なものとするすることで、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-20年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

## "ROTARY CONNECTS THE WORLD"

———マーク・ダニエル・マローニーRI 会長 略歴———

Decatur ロータリークラブ所属 (アラバマ州 (米国))

税法、遺産、農業法を専門とする Blackburn, Maloney, and Schuppert 法律事務所の社長であるマローニー氏は、米国南東部・中西部の大手農場経営者の顧問弁護士であるほか、米国弁護士協会の農業関係委員会の委員長を務めています。また、米国弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラバマ州法律協会の会員です。

地元ジケーターでも熱心に活動し、自身が所属する教会の財務委員長と地元カトリック学校理事長のほか、Community Foundation of Greater Decatur 会長、Morgan County Meals on Wheels 会長、United Way of Morgan County 理事、Decatur-Morgan County 商工会議所の所長を務めています。

1980年にロータリークラブ入会し、以来、RI 理事、財団管理委員と副管理委員長、ジョナサン・マジニアベ 2003-04 年度会長のエイドを務めました。また、規定審議会の議長と副議長、運営議事手続きの専門家、研修者のほか、2004年大阪国際大会委員会のアドバイザー、2014年シドニー国際大会の委員長も務めました。

ガバナーとなる前には、研究グループ交換のリーダーとしてナイジェリアに赴いた経験もあります。

ロータリー財団関連では、未来の夢委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、財団研修セミナーのモデレーター、恒久基金米国アドバイザー、平和センター委員、WASH (学校での水・衛生) 委員会のアドバイザーを歴任しました。

同じ法律事務所の弁護士であり、ジケーター・ロータリークラブの元会長でもあるガイ夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。



## 【ガバナーメッセージ】

新保副ガバナーに敬意と感謝！

そして「楽しいロータリーでつながろう」

国際ロータリー第 2560 地区  
2019-20 年度ガバナー  
大谷光夫（高田 RC）

国際ロータリー第 2560 地区 2019-20 年度ガバナー就任のご挨拶を申し上げます。

最初に新保副ガバナーにおかれましては、ガバナー、副ガバナーの重責を全うされ、素晴らしい成果を挙げられました事、誠にめでたうございます。そして川瀬ガバナーのアクシデント後を引き継がれ、2年間の長期にわたりご活躍されました事に深く敬意を表しますとともに国際ロータリー第 2560 地区を代表して心より感謝申し上げます。

2017年12月28日、第7分区藤巻ガバナー補佐が招集された第7分区8RCの現新会長・幹事会により、第7分区推薦のガバナーノミニーの指名を受け、2018年の地区大会でガバナーエレクトとして承認されました。それ以来パストガバナーを始め、大変多くの皆様から様々なご指導を賜り、在籍44年の中でロータリーをこれほど勉強した1年半はありませんでした。RIは114年、日本のロータリーは100年もの長きにわたり、先輩たちが脈々と受け継ぎ、歴史と伝統を重ね、今日のロータリーがあります。大変気が滾る思いで、ガバナーを拝命いたしました。

マーク・ダニエル・マローニーRI会長は、ロータリーの持続発展のため、今年度は変化する最初の年度にするようにと言われ、柔軟性、多様性、さらには革新性を持って持続するロータリーを望んでおられます。

第2560地区においても今年度は柔軟性、多様性、革新性を駆使して活動していただくよう地区と各クラブをお願いいたしました。従来とは若干違った運営があるかも知れませんが、1905年ポール・ハリスが掲げた、仲間づくりと親睦のため「生涯にわたる友情を培うことの出来る場をつくる」ことは不変であると思います。



クラブと会員各位がロータリーは「楽しい」と思えなければ、ロータリーの持続発展はありません。  
第 2560 地区のロータリアンの皆様と新保副ガバナーはじめ、歴代ガバナーからのご助言を賜りながら、  
「楽しいロータリーでつながろう」を合言葉にロータリー活動をさせていただき所存でございますので、  
何卒、ご支援ご協力をお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。

---

## 大谷 光夫 ガバナーエレクト 略歴

---

高田ロータリークラブ所属

### ■略歴

生年月日 1946年7月29日  
現住所 上越市栄町2-2

### ■現職

株式会社大谷ビジネス 代表取締役会長  
株式会社大谷ビジネス柏崎 会長

### ■団体職

上越商工会議所 常議員  
上越商工会議所 小売商業部会長  
新潟県文具事務用品組合連合会 副会長  
上越文紙事務機器販売連合会 会長

### ■ロータリー財団寄付

ポール・ハリス・フェロー+7

### ■米山奨学会寄付

第5回米山功労者

### ■ロータリー歴

1975年9月12日 高田ロータリークラブ入会  
1991-92年度 高田ロータリークラブ幹事  
1993-94年度 地区副幹事  
1994-95年度 地区副幹事  
1995-96年度 地区ライラ委員  
1996-97年度 地区ライラ委員長  
1998-99年度 地区青少年奉仕委員長  
2000-01年度 地区社会奉仕委員長  
2001-02年度 地区新世代奉仕委員長  
2006-07年度 高田ロータリークラブ37代会長  
2008-09年度 地区会員増強委員  
2009-10年度 地区会員増強委員長  
2010-11年度 地区クラブ奉仕・広報委員長  
2014-15年度 第7分区ガバナー補佐  
2017年12月 ガバナーノミニ  
2018年7月 ガバナーエレクト



## 「副ガバナーを拝命して」

国際ロータリー第2560地区  
直前ガバナー、副ガバナー  
新保清久（新潟万代RC）

2019-2020 年度国際ロータリー第 2560 地区大谷光夫ガバナーより副ガバナーを拝命いたしましたのでご挨拶申し上げます。

米国アラバマ州のジケーター・ロータリークラブ所属のマーク・ダニエル・マローニ次期国際ロータリー会長は、2019-2020 年度国際ロータリー会長テーマ「ROTARY CONNECTS THE WORLD」（ロータリーは世界をつなぐ）を発表する際に、「より力強いロータリーを築くためには、地域社会とのつながりを広げられるような革新的な会員モデルを導入するように」と呼びかけました。

さらに「クラブ会長は、忙しい職業人や家族の都合でも忙しい会員にもリーダーの役割を果たしてもらえよう、様々な例会の内容や奉仕プロジェクトの機会を提供する」ように促しました。

2017 年 6 月、国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、ロータリーの新しいビジョン声明「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で。そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」を発表するとともに、このビジョンを実現させるために 5 年間の活動指標となる 4 つの優先事項を発表しました。

また 4 月にシカゴで開催されました規定審議会の決定事項が、新年度の 7 月より実施されます。

ローターアクトクラブや出席率について大きな変更があります。

会長、幹事、各奉仕委員長さんには、リーダーシップを大いに発揮していただき、多様性と柔軟性を取り入れて、時代に適応するクラブ運営を目指すとともに、地区目標、クラブ目標の達成とクラブの活性化、発展に尽くされることを願っています。

結びになりますが、大谷ガバナーはじめ会員各位のご健勝、ご発展を祈念申上げてご挨拶とさせていただきます。

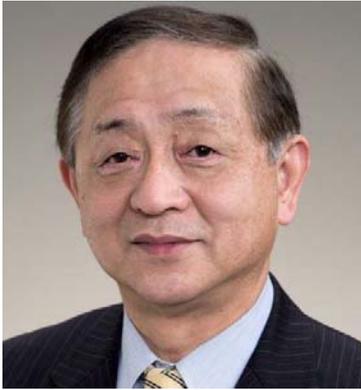


## 「大谷光夫ガバナー年度のスタートにあたり」

国際ロータリー第 2560 地区  
地区幹事  
本山秀樹（高田 RC）

大谷ガバナーのモットーは「ロータリーに NO はない」です。2017 年 12 月に地区幹事の依頼を打診されましたが、ロータリー歴も 13 年と浅く、クラブ会長を 6 月でようやく無事終わり安堵の日々を送っていた時の事で戸惑いもありましたが、されどロータリーの思いで快諾させていただきました。地区では、ガバナー輩出の輪番制と地区事務所の固定化で変革のときでした。2017 年年の瀬の 12 月 29 日上越市内のホテルで第 7 分区臨時会長幹事会議が開かれ当時の大谷ガバナーノミニを第 7 分区の総意と協力で支えるとの意思決定がなされ、実質的な大谷年度のスタートになりました。そして、昨年 7 月のガバナーエレクト就任から 2019-2020 年度地区組織の構成、9 月のガバナーエレクト事務所の開所式、地区運営会議の開催、国際協議会帰国報告会、3 月の糸魚川市での PETS、5 月に地区研修・協議会の開催と慌ただしく一年が過ぎました。そして、いよいよ大谷光夫ガバナー年度がスタートします。新潟万代ロータリークラブから始まる公式訪問は、地区とクラブを結ぶ重要な架け橋です。2019-20 年度国際ロータリー マローニー会長は、テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」の冒頭でロータリーの礎は「つながり」です。と言われていています。地区内 56 クラブでは、様々な奉仕活動が行われ、それを取り巻く多くの人たちとの繋がりが生まれています。ガバナー事務所としては、その繋がりがより強固なものになるようお手伝いできればと考えています。また、10 月 26、27 日と地区大会があります。 気負うことなく平常心で事に臨み、大谷ガバナーの「楽しいロータリーでつながろう」を実践していくつもりです。

至らぬ点もあろうかと思いますがスタッフ一同地区発展のために努力して参りますので地区内ロータリアン皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 「大谷年度スタートにあたり」

国際ロータリー第 2560 地区  
地区財務委員  
水上 喜芳（高田 RC）

7月ロータリーの新年度を迎え、大谷年度がスタート致しました。

今年度地区予算編成につきましては PETS 及び地区研修・協議会にて報告説明させて頂き次年度会長会の席上、ご理解ご承認頂き大変ありがとうございました。

今更、申し上げるまでもございませぬが地区財務委員は地区ガバナーと密接に協力しながら、地区資金の監督、地区予算の作成、地区運営分担金の検討、年次財務報告の準備といった役割を担い、また地区財務の透明性を保ち、収支を正確に記録するのも地区財務委員会の責務と、その責任の重さを痛感しています。

地区の予算には、ガバナーの年度活動方針や考え方が反映されるわけですが新年度のスタートに当たり地区予算から見たガバナーの方針を少し説明させて頂きます。

今年度のガバナー方針は「楽しいロータリーでつながろう」です。

これは、ロータリアン同士のつながりに止まらず更に奉仕を通した広がりを目指したものであり、RI 会長マーク・ダニエル氏の「ロータリーは世界をつなぐ」に通じるものです。

その活動方針の実践のため、RI の方針に沿った地区委員会の廃止など限られた地区予算を出来る限り抑えるべきは抑え、それを活動予算に振り向けました。

当 2560 地区の諸先輩が苦勞を重ね、積み上げてこられた歴史と伝統のバトンを引き継ぐため微力ながら精一杯務めさせて頂きたいと考えています。

1年よろしくお願ひ申し上げます。



## 「まず 公共イメージをアップして」

会員増強 戦略 広報委員会  
委員長  
山崎堅輔（中条 R C）

此の度、会員増強・地区拡大委員会、戦略計画委員会、広報・公共イメージ向上委員会の三委員会をそのまま一つの委員会として活動する組織が編成され、その委員長を拝命することとなりました。ご存知の通りこの三つの委員会は夫々の役割を担っておりますが、何れの委員会に於いても戦略計画と言うものは必要とされると思われま

### 会員増強に関して

組織立った戦略的、革新的な方策が必要であります。それにより、地域社会とのより深く深い繋がりが出来るだけでなく、より多様な会員に魅力を感じて貰い、積極的参加を促すことが出来ます。

ロータリーが一番大切な財産は会員です。会員を増やすことだけが増強ではありません。堅固な基盤があれば、クラブに活気をもたらされ、クラブの存在感が高まり、地域社会でのロータリーの奉仕力が更に高まります。

私がロータリーに入会した頃には既に言われていたことですが、毎年会員の自然減が5～10%あります。職場における転勤、退職、事務所の域外転出、その他クラブに対する期待外れ、事業不振、クラブ内に於ける違和感、これには会員との間や組織の問題、金銭などの他、病気、死亡、出席、例会が面白くない、会費が高い、臨時徴収が多い、奉仕への無関心、形式主義への偏重、規則過多など、退会の理由は多岐に亘っております。クラブ活性化の為にも女性や高齢の方、現役の方、年若くして且つ思考の柔軟な方、とバランスを保つことも大切です。

堅固な基盤があれば、クラブに活気をもたらされ、クラブの存在感が高まり、地域社会でのロータリーの奉仕力が更に高まります。

ロータリーが時代に沿った存在であり続け、会員の期待に応え続けるには革新と変化を取り入れ、多様な会員を迎え入れて行く必要が有ります。

### 戦略計画の立案に関して

戦略計画の立案とは『こういうクラブになりたい』というビジョンを描き、その実現に向けて目標を立てるプロセスです。

次に、戦略計画の土台となる、四つの主な優先事項と目的が RI 理事会で承認されています。

- ① より大きなインパクトをもたらす。
- ② 参加者の基盤を広げる。
- ③ 参加者の積極的な関わりを促す。



④ 適応力を高める

各項目は抽象的な表現で、ちょっと分かり辛いのですが、これは地区内、各クラブの置かれた環境が夫々違うので、それに対応したものを、クラブ自身が考えなければならない、と理解しております。

広報・公共イメージ向上に関して

ロータリークラブに付いて好ましい公共イメージが有れば、現会員の積極性が引き出され、入会への関心も高まります。

クラブ会員増強委員会と共同で、入会见込み者の関心を削ぐ可能性のある要素がクラブのイメージに有るかどうかを話し合い、それ等を克服する為の方法を考え、クラブのイメージを刷新し皆で取り組む必要が有ります。

クラブ会長はクラブの『顔』となる存在です。プロジェクトの式典、寄贈式、その他の場面で一般の人を対象にスピーチする機会も多いものです。『ロータリーとは何か』

『ロータリーはどのような活動をしているか』『ロータリアンとは誰か』といった基本的な質問にすぐ答えられるようにしておきましょう。

『ロータリーは世界をつなぐ』のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて手を取り合い、行動を起こすための繋がりを築いてまいりましょう。

皆様方の大いなるご健闘とご発展をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。



「ロータリーの健全性にとって  
会員増強は永遠のテーマである」

会員増強・地区拡大委員会  
委員長  
熊木 繁雄（直江津RC）

令和元年、この新たな輝かしい年に「楽しいロータリーでつながろう」を地区テーマに大谷年度がスタートいたしました。

このたび私は、地区会員増強・戦略・広報委員会の山崎堅輔委員長のもとで、会員増強・地区拡大委員長を仰せつかりました。年度目標達成に向かって増強一筋に努力・精進いたす所存でありますので、皆様より一層のご理解ご協力とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

大谷年度の会員増強は、各クラブの前年度末会員数に対し「純増5%」を目標に掲げております。これを地区に換算いたしますと、約105人増となり、全体として会員数2,100人台にて安定維持させることを目標値に設定しております。

この目標達成のため、まず第2560地区の会員数の変動状況を見ますと、直近6年度の会員数は2,100人を挟んで横ばいと、停滞状況にあります。ちなみに日本全体の会員数においても、厳しく減少傾向に推移しております。地区の現在までの各年度におきましても、純増年度目標の達成は容易ではなく、苦戦しているというのが現状です。

RI 2019-20年度のマローニー会長が年度ターゲットとして提唱されている「変化を実行に移す最初の年度にするように」をモットーに、長年に亘り問題となっている会員数を拡大できない現状を打破すべく、会員増強成功へのアプローチをもって、変化を実行に移し、目標達成を実現いたしたいと思っております。

会員増強にあたり、公共イメージの拡大と親睦ならびにクラブの質の向上に努め、クラブ会長・会員増強委員長他が増強に対する危機感を認識し、「強い決意」と「リーダーシップ」をもって、さらに全会員が増強活動に対する意義を共有し、大きな行動（すなわち実行）に移す事が成功への大きなステップとなり、併せて会員維持活動と退会防止活動にも継続的努力が必要であると思っております。

年度目標達成のため、皆様にはロータリアンの友情をもって、格段のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。会員増強・地区拡大委員会からのご挨拶とさせていただきます。



## 「戦略計画について」

戦略計画委員会委員会  
委員長  
羽深 耕時(高田RC)

- ・クラブの成長には柔軟性と多様性が重要。
- ・ロータリービジョン声明 「ロータリアンは地域社会そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、手を取り合って行動する世界と地域社会を目指します。」
- ・より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、積極的な関わりを促すために区内のマッチングや他の団体と手を組んだ活動を実践することが有効。
- ・またそれらの活動をマスコミを通じて広報することによってロータリーの認知度を高める。
- ・会員増強の時期は4半期に分けて年4回集中的に行う事が効果的。
- ・社長が低年齢上位の新しい業種分類を会員増強のターゲットとすることも検討要。
- ・衛星クラブを設立することにより若い世代が入会しやすくなるため、衛星クラブ設立がロータリー会員の増強につながる。
- ・より多くの会員にマイロータリーの登録をお願いしたい。



## 「基本方針について」

広報・公共イメージ向上委員会  
委員長  
齋藤 尚明 (高田 RC)

現在、国際ロータリーの最優先課題の一つに挙げられているのが会員増強で十数年来の大きな問題になっています。勿論日本も例外ではなく会員減少は他地域よりも顕著です。その理由にはさまざまな要因があると思われませんが、ロータリーの認知度の低さもそのひとつに挙げられます。

そこで、積極的な広報によって一般社会へのロータリークラブのイメージの向上をはかるとともに認知度、印象度をおおいに上げてひいては会員増強に繋げなければなりません。

最も大切なことは全てのロータリアン一人一人が自覚を持ち常に広報活動の意識を持って行動することです。まずロータリアン自身がロータリーとは？という問題に答えなければなりません。ロータリーとはひとこと言くと『自分自身と自分の職業を磨きながら地域と国際社会に奉仕する団体』です。その他ネットワークの拡がりや異業種交流、友人仲間づくりの楽しさなどロータリーの魅力を伝えるのも大事なことです。

各クラブの取組みとしては、それぞれの活動を積極的に広報に務め、特に公共性が高いと思われる活動については必ずメディアに伝えて取り上げてもらえるよう努力して頂きたいものです。具体的には新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミ。地域紙や地域 FM そして市町村の広報誌等々ミニコミも含めたあらゆるメディア媒体に対して取り上げてもらえるよう積極的に働きかけて下さい。

上記の活動を地道に積み重ねていくことによってロータリークラブのより一層の認知と公共イメージの向上に繋がることと思っています。

今年度の広報・公共イメージ向上委員会の予定としては、今後のロータリーの公共イメージ向上のあり方について 2560 地区の全クラブにアンケートをとって全クラブの意見を募り、その中から適切な意見を汲み上げて実践に向け検討していくつもりです。その節は各クラブより忌憚のない御意見を頂けましたらと存じます。

最後にいまいちど申し上げますが、全てのロータリアンの皆様には常に広報への意識を持って頂き社会でのロータリーの認知に寄与して頂けましたら幸いです。



職業奉仕委員会・親睦活動委員会  
2019-20 年度 基本方針

職業奉仕委員会・親睦活動委員会委員会  
委員長  
大嶋 浩文（越後春日山 RC）

本年度の職業奉仕委員会は、その原点でもある「四つのテスト」の理解を深めるための活動を進めていきたいと考えております。親睦活動委員会は、大谷ガバナーの意向に沿った親睦活動の活性化を目指していきたいと思っております。

昨今発生している、調査や試験データの改ざん、事故やその事実の隠ぺい等、多くの分野で発生している不祥事の中にある不正、不条理を見る時、心暗くなり、モラルの破壊が心配になります。官民を上げて、今一度「四つのテスト」を問い直すことが必要な時代ではないかと感じております。

「職業奉仕」の理念について。

**He profits most who serves best** 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」（一部、大先輩の皆様の解釈を引用致します）

元来この理念は、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱したものであります。

自らの儲けのためだけに職業に就いているという考えではなく、顧客満足度を最優先するという考えで事業を営めば、その真摯な態度が顧客の心を捉えて、リピーターとなり、新規の顧客を紹介してくれる様な関係になるはずで

その結果大きな利潤が得られるとともに、その事業所は継続的に発展していきます。

そして、そのような事業所は結果として高い職業倫理を持っているはずで

職業奉仕は職業倫理を高揚することばかりではなく、この様な職業奉仕の実践が、結果として高い職業倫理につながるのです。それをロータリーの職業奉仕理念として提唱したのです。

神道や仏教や儒教のような東洋的思想に親しんできた我々日本のロータリアンの中には、「奉仕」という和訳の性か、まだこの理念をきちんと理解できずに難解だと考えている方も多いのではないのでしょうか。

そこで、この高潔性と高い倫理感を実践するために生みだされたのが、「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」であります。職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっているのです。

天職を通じたサービス（職業奉仕）、相手のことを考え、皆のためになるように、そういう職業活動をする。それがビジネスの繁栄につながるという考えです。

職業奉仕：Vocational Service（ヴォケーションナル・サービス）の理解を更に深め、皆様と実践して行けば、良い社会となり、素晴らしい世の中につながって行くのではないのでしょうか。



「職業奉仕」につなぐための活動計画としては、ここに述べた理念の理解を深め、各ロータリアンの職業とクラブ運営に生かしていただくための「職業奉仕」啓発ツールを作成し、配布する予定です。

多くのロータリアンが実践している「職業奉仕活動」が、更なる繁栄につながります様ご期待申し上げます。

#### 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

#### 「ロータリアンの行動規範」

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。



## 社会奉仕委員会

社会奉仕委員会  
委員長

猪又 勝代（糸魚川 RC）

ロータリーは今も、ポール・ハリスの思い描いた素晴らしい団体であり続けます。

自分を越えた素晴らしいことを生み出せる場所であり、意義ある事業の基礎として、理念を奨励し地域の知り合いと交流を広め、社会のメンバーとして事業人、職業人として高い倫理観、道徳心を保ち、奉仕の心に基づき、親善・平和を世界中の人々に呼びかけるものです。

今求められている強さと高い基本理念を持ち、役立つ仕事は全て価値あるものと大切に認識し「何をするか」「何をしているのか」を地域に理解してもらい、「いかに重要であるか」の知名度向上を図りつつ各クラブがロータリーの奉仕を独自に定義する事が、重要と深く自覚し地域社会に奉仕を通じて我々は勿論、人々の人生に環境の変化をもたせると信じ願います。

ロータリークラブが目標に向かっていく大きな組織に展開・発展できるボランティア組織であり続けるよう努力し、奉仕の精神の道に向かい、具体的に事業を実行したいと思います。

- 1：小さな勇気・小さな心・小さな実践・小さな足跡、地域社会の各特色をクラブに映し出すことに力を注ぎ、長期の計画、持続可能な無理のない奉仕、全体レベルでのリーダーシップの継続性を重視し、無駄の無い活動を続けるよう努力をお願いします。
- 2：各クラブの社会奉仕活動の成功実績、構想や情報を積極的に取り上げ、情報公開して、活力の参考にしてみよう。
- 3：各地域団体、職業団体（行政）リーダーと協力体制の構築。  
地域奉仕活動として、社会的弱者（高齢者等）の支援。
- 4：将来、国の成長に重要な子ども達の教育の支援（道徳・倫理観の欠如の対策）。それには「地区補助金（DDF）」の積極的な利用を誘引するため、ロータリー財団委員会と連携し円滑に活動できるよう支援していく。

その他、社会奉仕委員会の皆様と協議を重ね、各クラブの社会奉仕活動への理解を深め、目的や情報を共有し、積極的な活動と効果が高く展開できるよう努力して参ります。



## 国際奉仕委員会

国際奉仕委員会  
委員長

永江 善昭(糸魚川中央RC)

2019～20年度 RI 会長マーク・ダニエル・マローニーさんは、「ロータリーは世界をつなぐ」という会長テーマについて、「ロータリーは形式張らない国際的なつながりを生み出しています。国際大会などの会合は素晴らしいイベントです。毎年、他では会えない人々と会うことができ、友情という絆でつながります。」と述べています。

今年度の国際奉仕委員会では、この精神にのっとり、国際奉仕フォーラムの実施とハワイ・ホノルル国際大会への参加促進を図り、友情の輪が大きく広がるよう努めて参りますので、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

### 事業計画

1. 海外姉妹クラブ・友好クラブとの交流促進に努める。
2. グローバル補助金を使った海外での奉仕プロジェクト活動のサポート  
グローバル補助金とは、6つの重点分野（平和と紛争予防・解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基礎教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）において、成果と長期的な持続が望める事業額3万ドル以上の国際プロジェクト（人道的プロジェクト・財団奨学金など）を支援するものです。
3. 国際奉仕フォーラムの開催  
2019年8月31日（土）上越市ホテルハイマートにて開催予定
4. ハワイ・ホノルル国際大会への参加促進  
2020年6月6日～10日ロータリー国際大会が、ハワイ・ホノルルで開催されます。地区独自の有意義で楽しい参加プランを作成して、一人でも多くのロータリアンに参加を呼び掛けていきます。





## ロータリー財団委員会

ロータリー財団委員会  
委員長

新保 清久 (新潟万代 RC)

地区ロータリー財団委員長を拝命しましたのでご挨拶申し上げます。

大谷ガバナーと協力して、ロータリー財団の意義、使命の啓発と各クラブの奉仕活動を財政面で支援してまいります。

ロータリー財団の標語は「世界でよいことをしよう」(Doing Good in the World)。

ロータリー財団は、1917年に基金として発足し、1928年国際大会でロータリー財団と名付けられました。1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となりました。

財団の定義は、「ロータリークラブ及び地区を通じて実施された人道的及び教育的活動を支援するための寄付を受け、資金を配分する非営利団体である」

財団の使命は、「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである」

以上の財団の標語、定義、使命の下にロータリー財団委員会の活動計画を立てました。

### 1. ロータリー財団の研修充実

ロータリー財団の理解を深めるために、クラブ財団委員長を対象とした地区の研修会を実施するとともに委員会メンバーがクラブに出向いて卓話を行う。

### 2. ロータリー財団の有効活用

補助金プログラムの①地区補助金、②グローバル補助金の理解と利用を促して、多くのクラブが補助金を活用して地域社会に貢献する奉仕活動を支援する。

財団奨学生を輩出するために大学担当者や希望学生への説明会を開催する。

### 3. ロータリー財団への寄付増進

地区からの年次基金への寄付は3年後に50%が国際財団活動資金(WF)に、残り50%が地区財団活動資金(DDF)となりますので、R財団の意義を周知し、寄付増進を各クラブの会長、財団委員長にお願いして参ります。

### 4. ロータリーカードの加入促進

2000年9月に国際ロータリーは、クレジット・カード・プログラムを開始しました。世界全体で、2000年以降のロイヤリティは総額約900万米ドル(2013-14年度迄)に上りそのうち約360万米ドルはポリオ撲滅に役立てられました。国内では、全額がポリオ撲滅資金に還元されますので、カード会社と連携を図って地区の会員に個人カード、法人カードの加入促進を進めてまいります。

以上の活動を通して、ロータリー財団の活性化と発展に貢献して参ります。



## 米山記念奨学委員会

米山記念奨学委員会  
委員長

吉村 鳳一（新潟西 RC）

### ○ロータリー米山記念奨学会とは

勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。

### ○ 2019 学年度当地区受入れ奨学生

新規 20 名 継続 9 名 合計 29 名

※国籍（中国、ベトナム、マレーシア、メキシコ、カンボジア、タイ、トルコ、スリランカ）

※所属学校（新潟大学、長岡技術科学大学、上越教育大学、事業創造大学院大学、新潟産業大学、新潟医療福祉大学、新潟経営大学、長岡大学、長岡工業高等専門学校）

※新規 20 名の内、1 名は当地区で 3 度目の海外応募者対象奨学生です。

### ○活動方針

10 月の米山月間と諸行事・活動を通して、より多くの地区内ロータリアンに米山事業の意義と活用法について啓蒙し推進を図ります。

本年度は受け入れ奨学生が 2 名増加して 29 名となります。

世話クラブが奨学生を支援しやすいよう、又、奨学生がロータリー活動に参加し相互の理解と交流が図れるよう、お手伝いしたいと思います。

### ○小委員会活動内容

#### ・寄付増進委員会

米山委員長セミナーやクラブへの卓話訪問を通して事業の意義を啓発し寄付増進を図ります。

#### ・奨学生選考委員会

米山奨学制度に相応しい奨学生を見出す為の選考活動をします。

大学説明会・選考会・奨学生オリエンテーション・カウンセラー研修会を開催します。

#### ・奨学生・学友委員会

奨学生・世話クラブ・カウンセラーの連絡調整並びに奨学生 OB 会である学友会運営のサポートをします。



【年間スケジュール】

年 月 日	行 事 名	出 席 対 象 者	
2019年	8月8日(木)	大学担当者向け米山制度説明会	県内各大学担当者
	8/31-9/1(土日)	米山奨学生親睦交流会	米山奨学生,カウンセラー,米山学友会
	10月19日(土)	第1回米山記念奨学委員長セミナー	クラブ米山奨学委員長
	11月30日(土)	米山奨学生学友会総会	2560地区米山学友会,米山奨学生,カウンセラー
	11月30日(土)	面接官オリエンテーション	米山奨学生面接官
2020年	1月18日(土)	2020学年度米山奨学生選考会	米山奨学生面接官
	2月1日(土)	第2回米山記念奨学委員長セミナー	現・次クラブ米山奨学委員長
	3月7日(土)	米山奨学生終了式・歓送会	米山奨学生・担当教員,カウンセラー, クラブ米山奨学委員長,米山学友会理事
	4月4日(土)	米山カウンセラー研修会	カウンセラー
	4月18日(土)	米山奨学生オリエンテーション	米山奨学生,カウンセラー,米山学友会理事



## 青少年奉仕委員会

青少年奉仕委員会  
委員長

石 倉 悟 (高田 RC)

五大奉仕のひとつに青少年奉仕があります。2019-20年度のR1ロータリーのビジョン声明(ロータリーとは)には、青少年育成；ローターアクト、インターアクト、青少年交換(将来のロータリアンとして)と、うたわれています。

### テーマ

- 1 RA、IA、青少年交換のないクラブからの登録、参加の推進
- 2 地域青少年活動の推進
- 3 RIJYEM との連携
- 4 RA、IA、ライラ、財団、米山、ROTEX による地区学友会推進と衛生クラブへの参加
- 5 ライラ全クラブの登録

1. 地区内でIAを持つクラブが11、RAが9クラブ、青少年交換(短期、長期含めて)行っているのが7、8クラブの現状であります。IA、RA、交換ともにさまざまな活動を毎月行っています。それらの活動に参加したことのないロータリアンは、多数いることと思います。IAでは7月に年次大会、RAは5月に地区協議会、翌年4月に地区大会を行います。ぜひとも青少年の活動に参加し、また各大会に登録、出席し理解を深めていただきたい。
2. 56クラブ中、IA、RA、交換をもっていないが青少年奉仕委員会を設置し独自の活動を行っているクラブは多数あるかと思えます。その活動をサポートするための新しい委員会を設置いたします。
3. 近年危機管理についての認識が世界的に強くなっています。昨年度RIJYEM一般社団法人化が完了いたしました。当地区では青少年交換を含め、ライラ、IA、RAに賠償責任保険に加入し各委員会の安全性を図っています。  
今後も起こりうる「好ましくない事態のすべて」の「危機」に対し、RIJYEMとともに委員会の体制の整備と、発生した場合の対応について連携を深めていきたいと思えます。
4. 現在RIにRA、IA、ライラ、財団、米山、ROTEXによる正式な学友会の承認を申請している最中ですが、取得後分区ごとに衛生クラブに参加し次のロータリアンの養成に努めます。
5. 今年度に限りライラを2泊3日で行います。より深い研修と親睦を目的にしています。最低全クラブ1名ずつの研修生、ロータリアンの登録をお願いします。どうしても都合がつかない場合は協力金の拠出をお願いする予定です。



## 2019-20年度 インターアクト委員会の方針と活動について

インターアクト委員会  
委員長

皆川 功次（新潟万代RC）

インターアクトクラブは、奉仕の精神と国際理解を青少年（新世代）に付与するために設立されたクラブで御座います。生徒がグローバル視野を広げて行ける様、指導・助言・監督を RI2560 地区 12 校の高等学校（高専共）の先生方や生徒の親御さんとも連携し円滑で有意義な時間共有を増やしクラブ活動を行います。

本年度の年次大会では、食育をテーマに地元の農業・食文化を学び体験学習を行います。

例年通り 7 月 13 日～14 日に執り行い、割烹の宿 湖畔（新潟市中央区）に集合し研修宿泊を行います。

体験研修会場は、新潟市アグリパーク（新潟市南区）にて行います。

ここでは、地域の農業・食文化について学習します。改めて食の大切さを理解した後に体験研修をして頂きます。

体験研修内容は、地元で採れた食材を使った本格ピザとイチゴジェラートの調理を行い食して頂く予定で御座います。

2 日目は、各校にインターアクトクラブ活動プレゼンテーションを行って頂き お互いの奉仕活動やクラブへの理解を深めて頂きます。

次に国際理解を深める行事とし台湾インターアクトとの交流を行っております。

お互いの文化への理解と国境を越えて、直接、人と人が繋がり広がって行ける有意義な交流を目指し行ってまいります。

昨今、高等学校で台湾への修学旅行が予定されている事も有りインターアクトで行く台湾研修の意識が以前に比べて衰退している様で御座いますが、修学旅行と大きく違う点であるホームステイがメインの国際交流で有る事を各学校長をはじめ顧問教師の方々にも再度認識頂き生徒と生徒の親御さんにまで、その話を伝える方法を一緒に検討させて頂ければと考えております。

これに付きましては、各学校へ過去での台湾研修旅行の動画をお送りし見て頂ければ生徒同士の有意義な活動内容を御理解いただける為の一つになるかと思っております。

今日日は、SNS で繋がって出来る友人が多い様で御座いますが、実際に御会いし意見交換し意志の疎通が出来た友人が、海外に出来る事を想像して頂く処までの話を進め理解頂ければと思っております。

インターアクターに少しでもグローバルな眼を養えるチャンスを限りなく提供し続ける事がロータリアンの務めで有ると自負しております。

ロータリアンの皆様には、提唱クラブに関わらず、ご支援、ご協力頂け増すよう、宜しくお願い申し上げます。



## ローターアクト委員会

ローターアクト委員会  
委員長  
上村 宏（長岡東 RC）

ローターアクトクラブは 18 歳から 30 歳までの青年男女で構成されるロータリークラブが提唱する組織で、当 2560 地区には 9 つのクラブがあります。

その活動目的は、青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を推進することにあります。

会員の皆様におかれましては、ローターアクトの活動をこれからも更に充実させる為に、ローターアクターの会員拡大並びに活動に対するご支援ご協力をよろしくお願いします。

### 委員会活動方針

- ・ 地区ローターアクト活動の活性化並びに全面的な支援
- ・ ローターアクト会員への助言及び指導
- ・ ロータリー会員へのローターアクト活動の周知とアクト会員増強への協力依頼



## 「今年度のライラ研修は楽しいぞ・学べるぞ」

2560 地区 ライラ委員会

委員長

角谷 正雄（雪国魚沼RC）

今年度のライラ研修は、参加された皆さまが「楽しかった・学べた」と言ってお帰りなられる2泊3日の研修にしたいと考えております。

今回の研修の目的は、「県内各地から18歳から30歳までのリーダー候補者がリーダーとなるために必要なスキルを身につける」「ロータリアンと研修生がお互いの交流を通して成長する機会とする」ことです。

内容は、2泊3日で中身の濃い、「楽しく学べる研修プログラム」を用意し、研修初日には、「ライラ研修に思い入れの大きい大谷ガバナーから研修生へ期待を込めた講演」、班対抗で仲間づくり、「リーダーとしての資質を考える」研修、化石燃料や電力を使わずに日本一のコシヒカリを炊く体験、「リーダーとしてのホスピタリティ」を考える講座を用意しております。

参加される研修生だけでなくロータリアンも「リーダーとは」改めて考える機会にしたいと考えております。

また、今年度は2560地区全クラブからの登録をお願いしております。よろしくお願ひします。

設備の整ったリゾートホテルでの3日間の研修を楽しく学んで頂けるよう雪国魚沼ロータリークラブ全員でお迎えいたします。

### 記

開催予定日 2019年10月18日(金)・19日(土)・20日(日)

研修会場・宿泊施設：舞子高原ホテル

〒949-6423 新潟県南魚沼市舞子 2056-108 TEL025-783-3511

主 催 国際ロータリー2560地区ライラ委員会

ホストクラブ 雪国魚沼ロータリークラブ

研修目的 「将来のリーダーとなるために必要なスキルを身につける」

### 内 容(案)

研修1 「ロータリーの魅力」2560地区 大谷ガバナー

研修2 ディスクゴルフまたはグラウンド・ゴルフ大会（班別対抗戦）

研修3 「(仮称)リゾートとは」舞子リゾート関係者

研修4 「リーダーとは」中小企業診断士・税理士 高野 裕氏

研修5 むか釜体験（班別）

研修6 「(仮称)ホスピタリティとは」トーマスアンドチカライシ代表 力石寛夫氏

参考までにライラは「Rotary Youth Leadership Awards」の頭文字を取ったもので「ロータリー青少年指導者養成プログラム」と邦訳されています。





## 青少年交換委員会

青少年交換委員会  
委員長

三 牧 好 起 ( 頸 北 RC )

ロータリーの青少年交換の目的は、青少年の育成と世界平和です。世界 100 以上国以上で実施されている青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15 ～ 19 歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人を作り、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。このプログラムにより、異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、世界の平和を少しずつ実現できると私たちは信じています。

さて、当地区の青少年交換ですが、大谷年度では、長期交換として受入 3 名、派遣 3 名並びに短期交換では受入 3 名、派遣 3 名の予定となっております。

青少年交換事業はともすると留学時の活動のみが重要と考えられがちですが、大切なのは留学後、学生がその経験をどう活かすかです。交換留学修了者（青少年交換学友）は、その後も ROTEX（ローテックス）としてロータリー活動に参加して、当プログラムによる派遣生、来日学生の留学生活がより良いものになるようにサポートしていただきます。

2560 地区では、これまで青少年交換を経験した多くの ROTEX がおりますので、大谷年度では ROTEX 会を活性化させて当委員会の事業をより良いものにしていきたいと考えます。



## 危機管理委員会

危機管理委員会  
委員長

石本 隆太郎（新潟 RC）

### 危機管理委員会設置の経緯

1. ロータリーが行っている青少年奉仕活動には、短期・長期の青少年交換事業の他、インターアクト、ローターアクト、ライラ、さらにはロータリー財団、米山記念奨学会等、色々あり、それぞれ長い歴史があります。
2. 危機管理委員会が地区組織の中に組み込まれるようになった経緯は、2000年頃から世界各地で青少年交換学生が被害者となる虐待やハラスメント事件が多発。クラブ会長や地区ガバナーに多額の賠償金が求められるという訴訟事件が発端でありました。
3. 2006年、RI 理事会は大切な青少年の身の安全を守ると共に、ロータリー組織を守る必要にせまられ、ロータリー章典の大巾な見直しを行い、世界の全地区に対して危機管理への対応を義務付けました。
4. 具体的には、①損害賠償責任保険への加入。②青少年プログラムの法人化。③地区組織に危機管理委員会設置の3点であり、危機管理への対応が適切に取られている地区へは証明書を出し、証明書を貰った地区でなければ2006-07年度以降、青少年交換プログラムへの参加はできないこととしたのです。
5. 我国では、全国34地区のガバナーで構成されるガバナー会で検討した結果、数人のパストガバナー有志で「特定非営利活動法人・国際ロータリー日本青少年交換委員会（以下、RIJYEC）」を立ち上げ、全国の会員1人当たり100円の支援金を基にして、留学生の支援事業をはじめ賠償責任保険費用や事務運営費等を賄ってきました。

### 当地区における危機管理委員会

1. 2007-08年度の当地区の組織に危機管理委員会が初めて登場しましたが、構成メンバーは、RI 理事会の指導で青少年奉仕活動に携わる上記委員会委員長の他、ガバナーエレクトとガバナー補佐1名、さらにロータリアン以外から有識者委員として女性代表、司法関係者、医師が1名ずつ加わり、委員長はパストガバナーが務める他、事務局には地区幹事が入るとい、他の委員会とはかなり性格の異なる特別委員会で、毎年7月の年度初めに委員会を開催。青少年奉仕活動に関わる各委員会に対して、危機管理に対する啓蒙活動等を行ってまいりました。
2. 2015-16年度には、当地区も「青少年交換・虐待とハラスメント防止に関する方針」と共に、「危機管理総則」及び「危機管理委員会規定」を制定。青少年奉仕に係る各委員会の役割を明確にすると共に、RIJYEC への支援金も会員1人当たり200円に値上げとなり、当地区も特別会計より42



万円を支出してきました。

- 2016-17年度から小生が危機管理委員長に就任しておりますが、近年の激動する世界情勢の中で、2017年1月に、R I は『ロータリー青少年保護の手引き』を全世界のガバナー宛に配信しました。
- これは、ロータリアンに青少年の安全を考え、彼らを守るために最善を尽くす責任を課した「青少年と接する際の行動規範に関する声明」の具体的指針となるもので、R I の常設プログラムに指定されている青少年プログラム全てが包括されています。
- この『青少年保護の手引き』を契機に、R I J Y E C 理事会は、34 地区ガバナーの賛同と地区内クラブの了承を得て、青少年交換プログラムを、R I の「多地区合同青少年交換プログラム (Multidistrict Youth Exchange Program)」として進め、加えて「多地区合同組織体」として法人化。2017年11月、R I 承認が得られました。

### 危機管理委員会の今後の方向性

- 2018年4月に一般社団法人の法人登記が完了。今後はR I J Y E C を改編した 国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構 (R I J Y E M) が全地区青少年交換事業の窓口となり、損害賠償責任保険 (組織としてのロータリーを守る保険：1億円の損害賠償保険で、年間保険料は100万円) を従来通り契約していきます。  
\* 米山記念奨学会は法人化されているため、既に損害賠償責任保険に加入済み。
- 他の青少年プログラム (ライラ、インターアクト、ローターアクト) は、現時点で法人化されていないため、法人格を有するR I J Y E M を便宜的に仮利用して、損害賠償責任保険に加入する必要性があり、当地区も2018-19年度に加入しました。
- 2019年1月現在、この青少年プログラム人格権特約付賠償責任保険の加入状況は、全国34地区中14地区に留まり、青少年交換事業に比較して対象人数が多いため、損害賠償額1億円に対する1地区当りの年間保険料は30万円と高額であります。今後、加入地区の増加により年間保険料の引下げが可能と思われます。
- 損害賠償保険への加入の他、「国際ロータリー第2560地区危機管理総則」の第7条 (危機管理資金) に、「危機発生時の対応に必要な資金として、地区に危機管理基金を常設する。その管理執行は、危機管理委員会の決定に従う。」と明記されましたので、2018-19年度、特別会計の国際活動会計から危機管理特別会計に500万円を基金として積立て、大規模災害等に対する危機管理体制を固めました。
- ロータリーの青少年奉仕活動は常に危険と背中合わせであり、時には人命に係わる重大問題でありますし、これらの奉仕活動を主催する地区ガバナーや担当委員長、さらにはクラブ会長等の責任は大変重くなっております。
- ロータリーの青少年部門の活動は、同一の青少年が青少年交換、ライラ、インターアクト、ローターアクトのメンバーとなっていることも多く、青少年の保護や危機管理の問題は、ロータリー財団の奨学生や米山記念奨学生にもかかわる問題であります。
- 今後も、ロータリーの青少部門に係る全ての委員会が、情報を共有しながら取り組んでいく必要がありますので、会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。



## ロータリー地域協働ネットワーク

ロータリー地域協働ネットワーク  
センター長  
高橋 悟 (雪国魚沼 RC)

### I. 基本方針

ロータリアンはもとよりロータリー家族と共に「地域と協働するロータリー」を具現するため諸活動を推進するとともに、地域の発展に欠かせない防減災意識を高めるため、地区ガバナースタッフと地区内全てのロータリークラブが連携した活動を進めます。

また、他地域での災害復興に資する支援に対してもロータリーの理念を基に、速やかな対応を目指してまいります。

### II. センターの活動目的

#### 1. 活動を通じて地域に貢献

：地域内のロータリー活動への認識を高め、ロータリーへの理解を深める事を通じて会員増強への一助とします。

#### 2. 地区内ロータリアンの互助力・共助力を高める

：センターでの活動を通じて会員間のより強固な絆づくりを進めます。

#### 3. 危機管理意識の啓発と行動力の強化

：防減災セミナーを開催し、いざの備えと安全の確保の大切さを周知します。

### III. 取り組みの概要

#### 1. 協働団体との連携強化

関係団体との連携を進め、互尊互助の信頼関係を深めます。

#### 2. 緊急時対応の整備

会員の理解と協力の下に、災害への迅速な支援に備えて以下の整備を進めます。

- ★資機材の提供
- ★人的資源の確保
- ★経済的な支援

#### 3. 防減災セミナーの開催… (予定) 令和元年8月31日土曜日

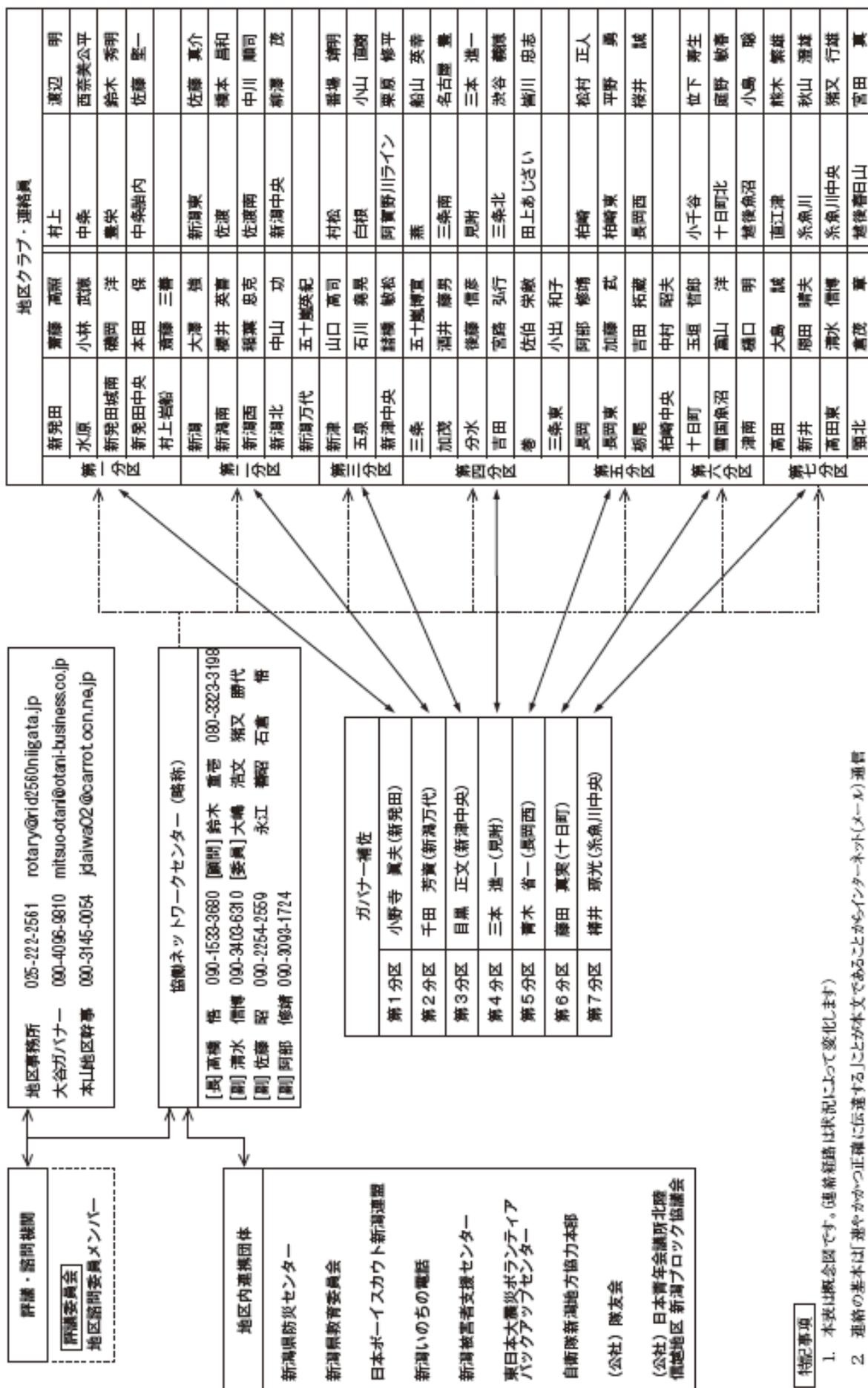
目 的：地域内関係団体との連携強化と会員の危機管理意識の向上を図ります。

会 場：長岡市震災アーカイブセンター

参加対象者：ガバナー、地区幹事、地区財務委員、ガバナー補佐、大谷年度センターの委員  
クラブの登録者 (ネットワーク緊急連絡網に登録された担当者又は代理者)  
関係諸団体



2019-2020 ローターリー地域協働ネットワーク緊急連絡網



2019年5月11日現在

特記事項

1. 本表は概観図です。(連絡経路は状況によって変化します)
2. 連絡の基本は「速やかかつ正確に伝達すること」が本文であることからインターネット(メール)通信を主とし、伝達ルートは以下を基本とします。(クラブ事務局もその対象となります)  
伝達ルートの基本 ガバナー → センター → ガバナー補佐 → 各分区内クラブへ
3. 詳細な連絡アクセス等は個人情報保護法のためガバナー事務局並びにセンターで管理致します。



# 【ロータリー賞・会長特別賞について】

2019-20 年度

## ロータリークラブ対象のロータリー賞

ロータリークラブ対象のロータリー賞は、ロータリー戦略計画の優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

クラブが My ROTARY でクラブ・会員の情報を更新している限り、多くの項目の達成状況は、国際ロータリーで自動的に確認することができます。いくつかは、ロータリークラブ・セントラルなどのオンラインツールを使って、クラブが達成状況を入力する必要があります。ロータリー賞の受賞資格を満たすには、年度開始時から終了時までクラブが正規に RI に加盟していることが条件となります。2019年7月1日時点の会員数と比較して算出され、2020年7月1日時点の会員数が確定する2020年8月15日以降に表彰されます。

### 人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも5項目を達成

- 少なくとも5名の会員から成るクラブ会員増強委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。
- 会員1名の純増を達成する。
- 既存会員と新会員の維持率を維持または改善する：
  - クラブの会員維持率を1ポイント上げる。または
  - 2018-19年度のクラブの会員維持率が90%以上である場合、これを維持する。
- 女性会員または40歳以下の会員1名の純増を達成する。
- 会員の職業を調べるために職業分類調査を実施し、地域社会にあるビジネスと専門職の実情に沿った会員基盤を築くために活動する。
- 新しいロータリークラブまたはロータリー地域社会共同隊のスポンサーまたは共同スポンサーとなる。
- インターアクトクラブまたはロータリーアクトクラブを提唱または共同提唱する。
- ロータリー学友のための行事を開催し、ロータリーでネットワークを広げる機会を紹介する。
- 青少年交換学生または RYLA 参加者を派遣する。

### 行動する

以下のうち少なくとも5項目を達成

- 少なくとも5名の会員から成るクラブ財団委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。
- 奉仕プロジェクトに関与する会員数を増やす。
- 年次基金への会員一人当たりの平均寄付額が少なくとも100米ドルとなる。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）を



Rotary.org に投稿する。

- 企業、政府団体、非政府団体とのパートナーシップを継続または確立し、プロジェクトで協力する。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。
- クラブとロータリーの活動を伝えるためにクラブ会員がメディアと話す機会を手配する。

## 2019-20 年度

### ローターアクトクラブ対象のロータリー賞

ローターアクトクラブ対象のロータリー賞は、ロータリーの優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、2019年7月1日より前に国際ロータリーにより認定されているローターアクトクラブであることが条件となります。クラブは、2020年8月15日までに、推薦書の提出を通じて、必要項目を達成したことを報告する必要があります。

### 人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも3項目を達成

- 会員1名の純増を達成する。
- 少なくとも50%の会員が、My ROTARYのプロフィールページに自分のスキルと関心を入力する。
- 双子クラブの関係を築く、または維持する。
- 「世界ローターアクト週間」やローターアクト創立記念日にイベントを実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝える。
- 提唱ロータリークラブと共に、ネットワークを広げる行事や交流活動に参加する。

### 行動する

以下のうち少なくとも3項目を達成

- ポリオプラスへの会員一人あたりの平均寄付額が25米ドルとなる。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- 提唱ロータリークラブと協力し、ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）を Rotary.org に投稿する。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。



## 2019-20 年度

### インターアクトクラブ対象のロータリー賞

インターアクトクラブ対象のロータリー賞は、ロータリーの優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、2019年7月1日より前に国際ロータリーにより認定されているインターアクトクラブであることが条件となります。また、2019年7月1日より前に、成人のアドバイザー（顧問）が、自分の氏名と連絡先を国際ロータリーに報告する必要があります。提唱ロータリークラブの役員またはインターアクトクラブのアドバイザーが、2020年8月15日までに推薦書を提出します。

#### 人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも2項目を達成

- 若いリーダーのためのロータリープログラム（RYLA、ロータリー青少年交換など）を会員に紹介するための会合を開く。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザー（顧問）と協力して、キャリア開発支援またはメンタリング活動を立ち上げ、参加する。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザー（顧問）と協力して、卒業するインターアクターにロータリーアクトクラブを紹介する（ロータリーアクトクラブは大学と地域社会のどちらを基盤としてもよい）。
- 「世界インターアクト週間」やインターアクト創立記念日に活動を実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝える。

#### 行動する

以下のうち少なくとも3項目を達成

- 「世界青少年奉仕デー」（Global Youth Service Day）のためのプロジェクトを計画、実行する。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）を、提唱ロータリークラブまたはアドバイザーに頼んで Rotary.org に投稿してもらう。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。



2019-20 年度

## ロータリー会長特別賞

なお、今年度は、ロータリー賞の必須項目を達成し、さらに追加項目から1~3項目を達成したロータリークラブに、ロータリー会長特別賞が贈られます。

### ロータリークラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- リーダーをつなぐ：会員5名以上の純増を達成する。
- 家族をつなぐ：会員の家族、青少年プログラム参加者や地域社会のそのほかの人たちが参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- 職業や専門知識をつなぐ：会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ、自己研鑽、専門能力開発プログラムなどを開始または継続する。
- 地域社会をつなぐ：少なくとも月に4回、ソーシャルメディアでクラブとその奉仕活動の情報を発信し、クラブ会員がいかに関与しているかを示す。

### ローターアクトクラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- リーダーをつなぐ：会員5名以上の純増を達成する。
- 家族をつなぐ：会員の家族や友人、青少年プログラム参加者や地域社会のそのほかの人たちが参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- 職業や専門知識をつなぐ：会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ、自己研鑽、専門能力開発プログラムなどを開始または継続する。
- 地域社会をつなぐ：少なくとも月に4回、ソーシャルメディアでクラブとその奉仕活動の情報を発信し、クラブ会員がいかに関与しているかを示す。

### インターアクトクラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- リーダーをつなぐ：会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ開発プログラムを開始または継続する。
- 家族をつなぐ：会員の家族や友人が参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- 学業をつなぐ：提唱ロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、地元のロータリークラブが提供している奨学金やそのほかの奨学金の機会を調べ、クラブにその結果を伝える。
- 地域社会をつなぐ：クラブとその活動を紹介したビデオを「インターアクト・ビデオ賞」に応募して、クラブ会員がいかに関与しているかを示す。



2019-2020年度 大谷ガバナー公式訪問日程表

※ クラブ名のあとの数字は分区

2019年6月12日現在

	月	火	水	木	金	土	日
7月	1	2	3	4	5	6	7
	8 新潟万代 ②	9	10 三条 ④	11 長岡西 ⑤	12	13	14
	15 海の日	16	17 新潟南 ②	18	19	20	21
	22	23 長岡 ⑤	24 中条 ① 中条胎内 ①	25	26	27	28
	29 三条南 ④	30	31			3	
8月				1	2	3	4
	5	6	7 柏崎 ⑤	8 十日町 ⑥ 十日町北 ⑥ 津南 ⑥	9	10	11 山の日
	12 振替休日	13	14	15	16	17	18
	19 新発田 ①	20	21 新津 ③ 白根 ③ 新津中央 ③	22 村上 ① 村上岩船 ①	23	24	25
	26	27	28	29 燕 ④ 分水 ④ 巻 ④	30 新潟東 ②		
9月							1
	2	3 村松 ③ 五泉 ③ 阿賀野川ライン③	4 佐渡南 ②	5 佐渡 ②	6	7	8
	9	10	11	12 加茂 ④	13	14	15
	16 敬老の日	17 新潟中央 ②	18 水原 ① 豊栄 ①	19	20	21	22
	23 秋分の日	24 栃尾 ⑤	25 長岡東 ⑤	26 新発田中央 ① 新発田城南 ①	27 吉田 ④	28	29
	30 柏崎東 ⑤						
10月		1 三条北 ④	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14 体育の日	15 新潟 ②	16	17 新潟西 ②	18	19	20
	21	22 祝日	23	24 見附 ④	25	26	27
	28 新潟北 ②	29 柏崎中央 ⑤	30	31 三条東 ④			
11月					1	2	3 文化の日
	4 振替休日	5 小千谷 ⑥ 雪国魚沼 ⑥ 越後魚沼 ⑥	6	7	8	9	10
	11	12 田上あじさい④	13	14 糸魚川 ⑦	15 糸魚川中央 ⑦	16	17
	18	19	20	21	22	23 勤労感謝の日	24
	25 高田東 ⑦	26 直江津 ⑦	27 新井 ⑦	28	29	30	
12月							1
	2	3	4	5 頸北 ⑦ 越後春日山 ⑦	6 高田 ⑦	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					



## 新入会員紹介(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
佐渡南	池 泰弘	2019.5.1	佐渡測量 (株)	測量設計
糸魚川中央	倉又 康	2019.5.1	割烹倉また	飲食業
加茂	中居 孝	2019.5.9	(株)長沢	塗料卸売
新潟東	細川 恭伸	2019.5.10	サッポロビール新潟統括支社	ビール製造
十日町	西村 公一	2019.5.16	日本生命保険相互会社	保険業
新潟	土田 克則	2019.5.21	(株)信和商会	経営コンサルタント
新潟	重松 秀明	2019.5.28	(株)電通東日本新潟支社	広告業
長岡	小森 卓	2019.5.28	岡三にいがた証券 (株)	証券業
新井	川上 裕一	2019.5.29	岡三にいがた証券 (株) 新井支店	証券業
新発田	長谷川 啓	2019.6.3	山田建設 (株)	寺社建築
村上岩船	鍋倉 志津子	2019.6.3	Niche (ニッチ)	バー
新発田城南	佐藤 智之	2019.6.6	明治安田生命保険相互会社 新発田営業所	生命保険業
新発田	山中 周一	2019.6.10	(有)アクティブ	保険代理業
村上岩船	齊藤 源	2019.6.17	旭電工(株)	電気工事

## 訃報

RC	御名前	逝去日	会社名	経歴・その他
直江津	直江 智成 様	2019.5.30	真宗大谷派林覚寺	1998-1999 年度クラブ会長 2007-2008 年度アシスタントガバナー
糸魚川中央	小川 豊嗣 様	2019.6.1	小川建設(株)	1990-91 年度幹事・1996-97 年度会長

心よりご冥福をお祈り致します。



## 地区予定

7 月	1	(月)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
	6	(土)	青少年奉仕合同会議	やすね
	7	(日)	全国青少年交換委員長会議	東京品川
			青少年交換委員会 短期インバウンド出迎	新潟空港
	13 ~ 14	(土 ~ 日)	インターアクト年次大会 (ホストクラブ: 新潟万代 RC)	割烹の宿湖畔・新潟市食育センター
	13 ~ 14	(土 ~ 日)	青少年交換委員会 短期交換学生研修旅行	東京
	14	(日)	危機管理委員会	ホテルオークラ新潟
			青少年交換委員会 夏期交換学生受入	
	20	(土)	財団ミーティング	万代シルバーホテル
	20	(土)	会員増強セミナー	やすね
	31	(水)	青少年交換委員会 短期交換学生歓送会	ホテルオークラ新潟
	31	(水)	青少年交換委員会 短期交換学生出発見送	新潟空港
8 月	会員増強・新クラブ結成推進月間			
	3	(土)	ロータリー財団地区資金監査	万代シルバーホテル
	3	(土)	財団ミーティング	万代シルバーホテル
	8	(木)	大学担当者向け米山制度説明会	ホテルオークラ新潟
			青少年交換学生派遣学生帰国出迎え	
			青少年交換委員会 短期アウトバウンド出迎	新潟空港
	24	(土)	第1回地区ロータリー財団セミナー/地区補助金オリエンテーション	ホテルオークラ新潟
	25	(日)	RIJYEM 総会	東京品川
	31	(土)	国際奉仕フォーラム・長期受入学生オリエンテーション	ホテルハイマート
	31	(土)	防減災セミナー	長岡市震災アーカイブセンター
31	(土)	米山記念奨学生親睦交流会	上越	



第 2560 地区 2018-19 年度 5 月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年7月1日	5月末会員数	うち女性	増減
<b>第1分区(9クラブ)</b>	<b>3</b>	<b>85.09</b>	<b>375</b>	<b>390</b>	<b>38</b>	<b>15</b>
新発田	3	94.62	95	94	0	-1
村上	4	89.59	37	37	9	0
水原	3	85.20	27	30	1	3
中条	4	92.31	36	39	3	3
新発田城南	4	68.59	43	49	4	6
豊栄	3	100.00	24	23	3	-1
新発田中央	4	76.00	49	53	5	4
中条胎内	4	74.32	37	38	7	1
村上岩船	3	85.19	27	27	6	0
<b>第2分区(9クラブ)</b>	<b>4</b>	<b>83.84</b>	<b>437</b>	<b>444</b>	<b>22</b>	<b>7</b>
新潟	4	86.96	86	91	2	5
新潟東	3	86.07	57	55	6	-2
新潟南	4	87.50	104	105	3	1
佐渡	5	90.30	7	7	0	0
新潟西	3	69.09	39	39	1	0
佐渡南	4	93.67	41	43	5	2
新潟北	3	73.33	40	41	0	1
新潟中央	4	90.63	25	24	0	-1
新潟万代	3	77.00	38	39	5	1
<b>第3分区(6クラブ)</b>	<b>4</b>	<b>76.07</b>	<b>117</b>	<b>112</b>	<b>4</b>	<b>-5</b>
新津	4	71.06	18	19	0	1
村松	4	87.50	9	8	0	-1
五泉	3	77.27	13	12	1	-1
白根	4	78.90	37	33	1	-4
新津中央	4	71.67	30	30	1	0
阿賀野川ライン	3	70.00	10	10	1	0
<b>第4分区(11クラブ)</b>	<b>4</b>	<b>78.27</b>	<b>367</b>	<b>378</b>	<b>27</b>	<b>11</b>
三条	3	85.51	56	58	0	2
燕	4	65.17	33	34	2	1
加茂	4	79.40	30	29	5	-1
三条南	3	86.17	48	48	3	0
分水	4	84.68	28	31	3	3
見附	4	70.00	20	20	1	0
吉田	3	93.50	28	31	4	3
三条北	4	81.66	64	60	2	-4
巻	4	72.40	20	25	1	5
田上あじさい	4	57.10	7	7	1	0
三条東	4	85.35	33	35	5	2

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年7月1日	5月末会員数	うち女性	増減
<b>第5分区(7クラブ)</b>	<b>3</b>	<b>86.00</b>	<b>316</b>	<b>317</b>	<b>24</b>	<b>1</b>
長岡	3	86.43	45	50	3	5
柏崎	3	86.82	43	43	0	0
長岡東	4	83.75	67	64	4	-3
柏崎東	3	90.07	48	46	4	-2
栃尾	4	87.95	22	23	0	1
長岡西	3	79.33	56	55	5	-1
柏崎中央	3	87.62	35	36	8	1
<b>第6分区(6クラブ)</b>	<b>3</b>	<b>81.03</b>	<b>149</b>	<b>147</b>	<b>10</b>	<b>-2</b>
十日町	3	98.88	33	31	2	-2
小千谷	4	72.37	33	33	3	0
雪国魚沼	4	70.60	27	27	2	0
十日町北	3	97.22	22	24	2	2
津南	3	69.33	27	26	1	-1
越後魚沼	3	77.78	7	6	0	-1
<b>第7分区(8クラブ)</b>	<b>4</b>	<b>84.37</b>	<b>330</b>	<b>330</b>	<b>21</b>	<b>0</b>
高田	3	96.77	65	63	0	-2
直江津	4	70.49	61	64	5	3
新井	4	80.73	30	34	2	4
糸魚川	4	85.00	41	40	3	-1
高田東	2	93.24	37	37	2	0
糸魚川中央	4	81.25	36	35	0	-1
頸北	4	89.60	15	15	1	0
越後春日山	4	77.84	45	42	8	-3

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	2,091 人
5月末 会員数	2,118 人
女性会員数	146 人
純増減会員数	27 人
当月平均出席率	82.16 %



# コーディネーター NEWS

19年7月号

Region 1 & 2 & 3  
フリーコーディネーター  
フリー公共イメージコーディネーター

2019年7月から、第1地域ロータリーコーディネーターを拝することになりました菅原裕典です。

まずはコーディネーター補佐の3名をご紹介します。

浅水 尚伸様(国際ロータリー第2770地区 2016-17年度ガバナー)

田中 久夫様(国際ロータリー第2840地区 2017-18年度ガバナー)

佐々木 千佳子様(国際ロータリー第2830地区 2017-18年度ガバナー)

それぞれの地区またはIMで開催するセミナーなどの予定があれば、戦略計画・会員増強・元気なクラブづくり等々、幅広いテーマでの講師として馳せ参じる所存です。是非とも、お声がけ下さい。第1ゾーンは14地区ありますので、RC・ARCが手分けしてお伺いいたします。地区の情報や各地区で活躍されているロータリアン・実績のあるクラブ紹介などを我々ロータリーコーディネーターがどんどん発信して参りますので、この4名を皆さまが最大限にご活用頂けたら幸いです。

先日、あるクラブの例会で体験した事をご紹介します。そのクラブの会員数は60名弱で、クラブ例会(夜例会)が終了した後、新入会員の歓迎会が開催されておりました。任意の21名が参加されていて、新入会員の年齢は30歳と若い方でしたが、歓迎会に参加していた方の年齢は私より1歳年上の60歳の年長者の方でした。ロータリーは年を重ねた方が多いと言われていますが、私がこの時感じたことは、世代ごとの会員増強にしっかりと取り組んでいるという光景でした。

手放しで素晴らしいと言いたところですが、実はこれが当たり前のことでもあります。ロータリーは年齢のことだけではなく、女性会員が少ない、会員増強が難しいなど、とかくイメージが先行しがちですが、純粋に入会させたい人物がいれば年齢や性別でなく、入会いただくまであきらめない積極的な取り組みが必要と感じました。できない理由を述べるのではなく、できる理由を皆さんで考えましょう。それこそがロータリーではありませんか。

最後にRCの役割として、各クラブのMy ROTARYへの登録を100%とすることを目標とし、それをサポートして参ります。これからのロータリーには、ICTの活用やネットワークの広がりが必要不可欠です。My ROTARYは世界のロータリーの情報をリアルタイムで確認することができる唯一無二の優れたツールです。是非、My ROTARYへ登録をお願い致します。

第1地域ロータリーコーディネーター 菅原 裕典

## 公共イメージ、広報と増強にもターゲット的な視点を

ロータリーの認知度を深め、公共イメージを向上させ、会員増強につなげようと各地区、クラブ、個々のロータリアンが努力しています。しかしながら、なかなか増強に結びついていないのが現状です。特に若年層の勧誘に苦しんでいるクラブが多いのではないのでしょうか？

私の所属するクラブも同様です。若年層の入会対象者を勧誘しても、年会費が高い、昼の例会には仕事で出られない、例会が毎週では無理だ等々の理由で断られます。そこで2013年規定審議会で採択された「衛星クラブ」を設立しました。例会場、年会費、例会日、時間等親クラブと異なっても構わない。衛星クラブの会員は、親クラブの会員でもあるロータリアンである。設立時に8名の会員を要するが、人数に上限はない。会員の在籍年数に年限はない。

そこで年会費は親クラブの1/3、例会は昼、月2回例会の衛星クラブが9名で設立され、その後11名となり、77名の親クラブは88名のクラブとなりました。増えた2名は、我々が勧誘しても首を縦に振らなかった対象者が、衛星クラブ会員となったメンバーが誘うと、いとも簡単に入会しました。我々の勧誘は、いかに正確に、平易にロータリーを説明しても、彼らにはハードルの高いものと映ったそうです。

昨年北海道は胆振東部地震のため、全道がブラックアウト、停電の被害を受けました。その為クラブ事業として、市内全中学に発電機を寄贈しました。30歳代の彼らはPTA役員をしています。その彼らが寄贈時各校で、教職員を含めたPTAの皆さんにこのような行動をするロータリーを説明しました。我々が説明するよりも身近にロータリーを認識してもらえたようです。

入会対象者に最適な勧誘者、広報対象者にふさわしい説明者。広告にマス広告とターゲット広告があるように、公共イメージ、広報にも、また増強にもマスとターゲットが必要ではないのでしょうか？対象に沿ったアプローチの仕方を、知恵を絞りながら模索する、そのような時代にいると思います。

第1地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 嗟峨 義輝



## 理事会開催報告 — 2020 学年度は 860 人採用 —

6月12日、全国から理事29人、監事3人および小沢一彦名誉理事長が出席し、第22回理事会が開催されました。

齋藤直美理事長の進行の下、主な議案として、2019 学年度奨学生採用の件、業務委託規程・覚書の件、2020 学年度奨学生採用数と募集要項の件、2019 年度事業計画案・収支予算案などが審議されました。継続審議となった業務委託規程・覚書の件を除いて、その他の議案は原案通り承認され、2020 学年度の奨学生採用数は、前年度比10人（枠）増の860人（枠）とすることなどが決定しました。

昨年8月の理事会で「議案以外のことについても意見交換して、理事会を活性化させたい」との意見を頂いたことから、議事終了後は、「学友」としての意識付けをいかに図るか」など、40分にわたり、活発な意見交換が行われました。



## 帰国学友歓迎会 & 日本人奨学金 — 韓国米山学友会 —

韓国米山学友会が5月18日、毎年恒例の「帰国米山学友歓迎会」を開催しました。この会は、今年韓国へ帰国した元米山奨学生を歓迎する会で、今回は帰国・新規学友5人を含む25人が参加しました。

また、当日は、同学友会が支援する日本人奨学生3人（梨花女子大学 通訳翻訳大学院2人、東国

大学 仏教大学院1人）も参加し、全員の前で奨学金が授与されました。この奨学金は2016年、米山学友たちの恩返しの気持ち、そして、日韓の懸け橋となる若者を支援したいとの考えから設立され、同学友会ではこれまでに累計11人の日本人を支援しています。



## 寄付金速報 — 今年度の送金はお早めに —

5月までの寄付金は前年同期と比べて3.0%減（普通寄付金:0.3%増、特別寄付金:4.5%減）、約3,910万円の減少となりました。5月単月の特別寄付金が前年度と比較して1,570万円減少したため、前年同期比の累計額も先月に比べて減少幅が大きくなっています。

2018-19年度も残り約半月です。普通寄付金上期・下期ともにまだご送金されていないクラブは、6月28日（金）までに当会の銀行口座に入金記帳されるようお送りください。引き続き、今年度も最後までご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 【訃報】 名誉理事長 末永直行氏 逝去



当会名誉理事長（元理事長）の末永直行氏が、5月14日にご逝去されました。96歳でした。

末永氏は1959年に福岡西RCに入会され、1970-71年度ガバナー、1982-84年度国際ロータリー理事など、ロータリーにおいて要職を歴任されました。当会においては、1973-77年度理事、1977-87年度常務理事、1987-92年度副理事長、1992-2001年度には第

3代理事長をお務めいただくなど、実に30年近くの長きにわたり、米山記念奨学事業のために多大なご貢献をいただきました。記録に残された発言の数々は、米山奨学事業が今後アジアにおける日本の信頼を確保し、真の知日派・親日家を世界に根付かせていく期待に満ちています。ご遺志により、葬儀・告別式は近親者のみですすでに行い、後日、お別れの会が開かれるとのことです。

ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

## 学友会のコラボ活動 — 第2610 & 2650地区 —

第2610地区（石川・富山）と第2650地区（福井・京都・奈良・滋賀）の両米山学友会による共同イベント、「みんなの交流会」が5月25～26日、石川県羽咋市内で行われました。

この交流会は昨年続く2回目の開催で、今年は学友・奨学生・ロータリアンら36人が参加。格闘技エクササイズやうちわ作りなど、参加者による自主企画のプログラムを中心に、交流を深めました。また翌日は、能登の海岸清掃活動を2時間かけて行い、さわやかな汗を流したとい



うことです。

第2610地区米山学友会の董又碩<sup>ドンウツク</sup>会長（2012-14/能美RC）は、「われわれ第2610地区米山学友会としてはこれが初の公式な奉仕活動で、それを第2650地区との共同行事で行うこ

とができたことは、とても意義深いと感じました。米山学友が力を合わせて地域に貢献する活動ができたことが本当に嬉しく、これからも定期的に奉仕活動しよう！と意気投合しました」と、語りました。

## “絆 in モンゴル” 直前情報

7月27日・28日にモンゴルの首都ウランバートルで開催される米山ファミリーの集い「絆 in モンゴル」には、おかげさまで多くの皆様から参加登録をいただきました！

ホスト国モンゴルはもとより、日本各地、台湾、韓国、中国、タイ、マレーシア、ベトナムなどからも多くの学友が参加。また、これまでに200人超のロータリアンの登録をいただき、全体では450人規模の大きな祭典となりそうです。

27日の式典・懇親会では、参加者の皆さんに

楽しんでいただこうと、モンゴル伝統の音楽・舞踊や各学友会の紹介などが予定されています。また、28日の遊牧祭も個人ではなかなかできない体験です。このほか、参加者からの要望に応じて、26日には実行委員長のジャンチブ・ガルバドラッハさんが理事長を務める「新モンゴル学園」の見学ツアーも企画中のとのことです。

なお、航空券やホテルをご自身で手配される場合は、登録はまだ受付可能です。ご希望の方は、mongolianyoneyama@gmail.com まで。



2019年 6月25日

ガバナーエレクト 各位

ロータリー文庫運営委員会  
委員長 真下 和男

拝啓 梅雨の候、貴ガバナーエレクトはじめスタッフの皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、常々ロータリー文庫へのご協力を心から感謝いたしております。

今回は、下記6点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載くださるようお願いいたします。

敬具

## 文庫通信 [377]

ロータリー文庫通信377号 2019年6月 新会員にお勧めする書籍

7月 はロータリーの新年度です。昨年入会された方々はそれぞれの地区／クラブで「研修」の名の下にロータリーの知識を学び、徐々にロータリーに溶け込んでいることと思います。ロータリーとは何か、ロータリアンとは何か、いろいろな疑問を抱き始める頃です。身近な先輩諸兄の話を聞くことも必要です。ロータリー文庫には先達の残した随筆や小論があります。新会員の方に是非とも読んでいただきたいものを選んでみました。

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
多種多様の中の調和と個人の確立	佐々木統一郎 -	1971	11P	※
新人のためのロータリー情報-クラブ奉仕-出席と親睦と奉仕との相関	佐々木統一郎 -	-	7P	※
あなたにとってロータリーとは何か 改訂版	菅野多利雄 -	2012	23P	※
あなたはなぜロータリアンなのですか?	中山義之 D.2770	2008	19P	※
〈対談集〉いまロータリーが忘れてのこと	森三郎・渡辺好政 D.2700	[1999]	14P	※
私のロータリー観 -アイ・サーブとウイ・サーブ-	増田房二 京都東 R.C.	1987	17P	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

\*資料の検索は文庫ホームページから <https://www.rotary-bunko.gr.jp>

ロータリー文庫 HP での、「ロータリー文庫検索」の検索方法を改善しました。キーワードでの検索方法が充実し、下記のように「書籍・冊子等」 / 「記事」 / 「PDF」の3つに絞って、資料が探しやすくなりました。ぜひご利用ください。

<キーワード検索>.....

◆絞り込み検索

書籍・冊子等を探す  記事を探す  PDFを探す(複数選択可)

検索



ROTARY  
INTERNATIONAL  
DISTRICT 2560

国際ロータリー第 2560 地区 2019-20 年度ガバナー事務所

---

〒943-0834 上越市西城町 2-3-9  
TEL:025-512-1435 FAX:025-512-5854  
E-MAIL [m.otani@rid2560niigata.jp](mailto:m.otani@rid2560niigata.jp)